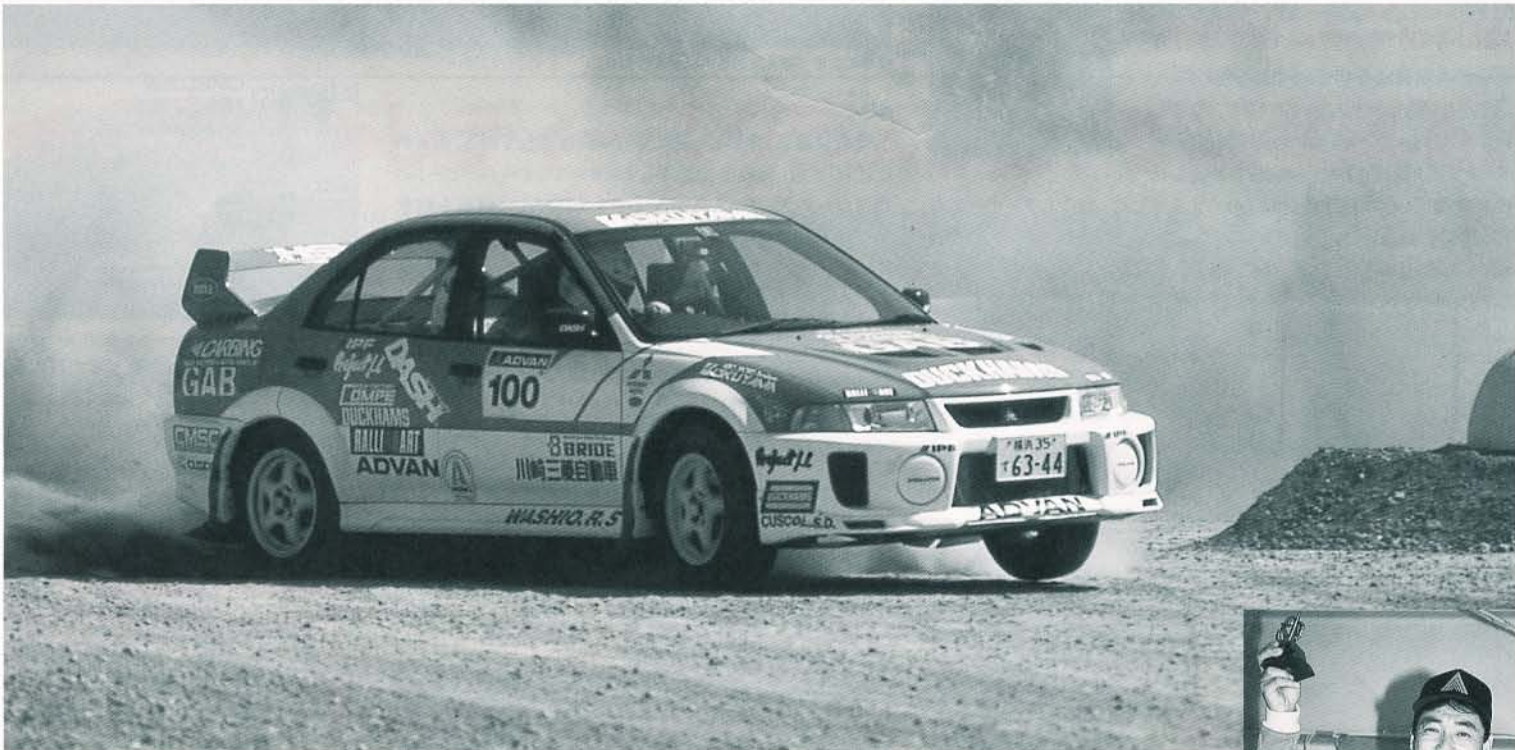


全日本ダートトライアル
第3戦

AIVクラスでCMSC勢大活躍! 宝田 芳浩選手 CMSC 札幌 エボVで逆転優勝!



見事な逆転優勝。笑顔で表彰を受ける宝田選手(右)と激走するエボV(上)。

'98全日本ダート選手権第3戦「トライアル・ド・ニッポン'98」が、5月31日福島県二本松市の「SSパークサーキット」で開催されました。コースは高低差が無くフラットでハイスピード、かつゴール直前には連続ターンも設けられた設定。当日の天候は晴れでした。

36台が出走のAIVクラスには、デビュー以来注目を集めるランサーエボVが出場。第1ヒートでは4番手タイムとなっていたエボVのCMSC札幌・宝田芳浩選手が、第2ヒートで見事、逆転優勝を果たし

た。2位にもエボVのCMSC群馬・荒井信介選手が入り、エボVが1-2フィニッシュを達成。さらにエボIIIのCMSC岐阜・三枝光博選手が3位入賞。5、6位にもCMSC栃木・赤羽政幸選手、CMSC岐阜・榎田正文選手が入るなど、CMSC勢大活躍の結果となりました。

また、レディースクラスでCMSC浜松・西川美佳選手が2位に、DクラスでCMSC群馬・古澤稔久選手が3位に入賞しています。



全日本ダートトライアル第3戦CMSC入賞者(3位以上)



CMSC群馬
荒井信介選手
AIVクラス2位



CMSC岐阜
三枝光博選手
AIVクラス3位



CMSC群馬
古澤稔久選手
Dクラス3位



CMSC浜松
西川美佳選手
レディースクラス2位



全日本ダートトライアル
第1戦

小出久美子選手

CMSC
大阪

レディースクラス優勝。

全日本ダートトライアル
第2戦

藤原雄一郎選手

CMSC
大阪

AIIIクラス優勝。

第1戦

'98全日本ダート選手権開幕戦「RASCALスプリングトライアルin三井」が、4月19日福岡県大牟田市「三井・三池オートスポーツランド」で開催されました。今シーズンは車両規定が大幅に変更。開幕戦とあってまだまだ試行錯誤ながら、各クラス規定内の改造を試みていました。参加台数の半数を占めた三菱勢でしたが、その中、レディースクラスではCMSC大阪・小出久美子選手が優勝。今季の活躍が期待されます。またCMSC大阪・藤原雄一郎選手がAIIIクラスで3位に入賞。DクラスでもCMSC群馬・古澤稔久選手が3位、CMSC大阪・秋間忠之選手が4位に入っています。

CMSC大阪 小出久美子 全日本ダート第1戦優勝記

全日本参戦は今年で15年になりますが、「三井・三池オートスポーツランド」の新しいコースになってからは、'94年度的全日本ダート第1戦にランサーエボIで優勝したのが最後で、それ以後優勝はありませんでした。今年もランサーエボVは間に合わないし、慣れないエボIVよりは、慣れているエボIIIでと思い、エボIIIで参戦しました。1本目、2本目ともクラスベストタイムでインプレッサバージョンIII、IVを押さえ、優勝という結果を残す事ができ



今年の活躍が期待できる小出選手の走り。

ました。

それに加え、今年も一緒に全日本に参戦している、主人のCMSC大阪・秋間忠之選手もランサーで、オーバーヒートの為スローダウンゴールながら、Dクラス4位という成績を残す事ができて、とてもうれしかったです。これからも夫婦仲良く、ランサーで全日本ダートトライアルにチャレンジしていきたいです。



CMSC大阪
秋間忠之選手
第1戦Dクラス4位

第2戦

'98全日本ダート選手権第2戦「'98信州ダートトライアル」が、5月17日、長野県「スポーツランド信州」で開催されました。「スポーツランド信州」は杉林の斜面を切り開いたアップダウンの激しいコース。CMSC勢ではAIIIクラスでCMSC大阪・藤原雄一郎選手がトップタイムを記録し、'89年以来、実に9年ぶりの全日本で勝利となりました。CIIIクラスではCMSC山形・八島功敏選手が2位となり、初めての上位入賞を果たしました。また、AIIクラスでCMSC岐阜・篠田大作選手、DクラスでCMSC広島・河内渉選手がともに3位に入っています。

CMSC大阪 藤原雄一郎 全日本ダート第2戦優勝記

本年度より永年戦い続けてきたAIVクラスから、AIIIクラスのC83Aミラージュにクラス変更しました。注目度の高いAIVから移行するのはとても寂しく、また、もしAIIIで結果が出せなかったらどうしようという不安から、決断するのに勇気が必要となりました。第1戦は車のセッティングが間に合わず、2トライ目ベストながら結果は3位となりました。

今回の第2戦は東京から比較的近い長野県ということで、セッティングも十分に行い、事前に開催されたC地区戦にも優勝して、万全の体

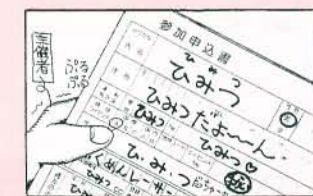


クラス変更で結果を出した藤原選手のミラージュ。

制で臨みました。当日は天気も良く、コース状態も良好で、余裕を持ったドライビングができました。結果は2トライ共にベストタイムを記録することができ、大満足しています。何と'89年の開幕2連勝以来9年ぶりの全日本優勝とアナウンスされてしまい、何だか恥ずかしいのと同時に、優勝の感激を思い出すことができました。サービスのメンバー、スポンサーの方々、仲間のドライバーなど数多くの方から握手を求められて、最高の気分を味わうと共に、今年のシリーズも見えてきたような気がします。まだ7戦残っているので、ベストを尽くして良いシリーズにし

コートの連続コーナー ⑨

CMSC島根
古藤 浩美



全日本ダートトライアル第2戦CMSC入賞者(3位以上)



CMSC山形
八島功敏選手
CIIIクラス2位



CMSC岐阜
篠田大作選手
AIIクラス3位



CMSC広島
河内渉選手
Dクラス3位

